

## 【プラスチック補修における世界基準推進に向け世界のリーダーが結集】

2025 年 5 月 9 日

自動車プラスチック部品補修における新グローバルリーダーとして Plasmonic は、世界中の自動車衝突修理業界における意欲的な専門家、権威を集め「**プラスチック補修協議連盟**」を正式に発足しました。この画期的な取り組みは、より正確なプラスチック補修技術の実践、ツール、およびプロセスの最適なグローバルスタンダードの確立と普及を推進し、多くの皆様の支援を目的としています。

この世界的な協議会は、3M、PPG、Polyvance、Mirka、ARA、AkzoNobel、Caliber Collision、Boyd Group、SEM など、業界で最も影響力のある組織、企業、機関の上級経営者および技術専門家で構成されています。多様かつ地域横断的な連合を代表する協議会のメンバーは北米、ヨーロッパ、アジア、中東、アフリカ、オーストラリアと世界各国に及んでいます。

Plasmonic のメンバーは、担当する地域における円滑なコミュニケーション、教育、カリキュラムや修理技術の開発など多彩な支援とアプローチを、業界、各分野、各地域にもたらしめます。私達の洞察により、業界に提供すべき最適なトレーニングプログラムの形成、プラスチック補修プロセスと技術の標準化について広範かつ深く理解して頂けるものと確信しています。また協議会のメンバーは、主要な塗料会社、様々な事業会社、自動車製造会社、車体整備事業者および損害保険会社すべてと強力かつ良好な協力関係を築き維持していきます。

「バンパー、ヘッドライト、トリムなどのプラスチック部品。現代の車両では最も頻繁に交換される部品になりつつありますが、実際に修理をしているのは僅かな量、一部に過ぎないのが現状です。一貫性のない品質や技術基準の欠如は、世界的にも安全性とコストの両面で大きな課題となっています」と、Polyvance 社の代表であり、協議会の創設メンバーであるカート・ラモン氏は述べています。

次の段階として、協議会は活動を開始するにあたり緊密に連携する各地域および専門分野のメンバーとリーダーを指名しました。このリーダーの役割は、Plasmonic の使命と任務を着実に遂行し、各地域において適切な進捗と連携を図るものです。

Plasmonic の CEO、ブライアン・ドリーホーストは、次のように述べています。

「これは、世界の自動車衝突修理業界にとって重要な節目であり、業界の全ての関係者の皆様にとっても誇らしい瞬間です。異なる意見は有るかも知れませんが、いま皆様と協力して世界の修理基準と品質を高めるといふ、私達と業界の皆様の統一されたコミットメントを

反映しています。協議会の設立は、イノベーションを推進し、ベストプラクティスを定義し、自動車プラスチック補修における透明で一貫性のある基準を確立するという私たちの共通のビジョンを明確にするものです。私たちは単にガイドラインを設定するだけでなく、業界全体を向上させる将来思考、より強固な繋がりと協力、持続可能な未来の基盤の構築、透明性、イノベーションを重視したエコシステムを構築していくのです。」

ブライアン・ドリーホーストのリーダーシップの下、Plasmonic は、車体整備業界、自動車製造会社、材料販売および製造企業と関連企業、損害保険業界、修理技術研究機関などの広範な主要パートナーと協力し率先して活動を行います。

これらの戦略的パートナーシップは、認証されたツール、高度な修理技術、トレーニング、を含み、自動車プラスチック補修の世界的な技術基準と技法の研究、技術革新と普及に焦点を当て、標準化された技術基準に準拠した高品質で持続可能な修理を世界中に提供していくことを保証します。

協議会メンバー（敬称略）：

- Kurt Lammon (Polyvance), 米国
- Leonardo Gomez (Mirka), ドイツ
- Meghan Barrera (SEM/PPG), 米国
- Mario Dimovski (Boyd Group), 米国
- Peter McAninch (Plastrepair), 英国
- Rebecca Miller (3M), 米国
- Rober Snook (業界エグゼクティブ), トルコ
- Ryan Gafford (Caliber Collision), 米国
- Vince Edivan (Auto Recycling Association), 米国
- Graham Threlfall (AkzoNobel), UAE
- John Morrissey (Plastfix), オーストラリア
- Anso Jacob (Body Shop Guru), インド
- Charles Canning (Halo Group), 南アフリカ
- George Varagic (業界エグゼクティブ), カナダ
- 奥田 照幸 (3Harmony), 日本

協議会の重要な使命は、

- プラスチック補修に関する包括的な技術基準と最良な修理技法の推進
- グローバルに統一された教育、トレーニングおよび認証プログラムの支援
- 最適なツール、材料、および修理方法の特定

- 自動車製造会社が推奨する修理方法との互換性と修理後の品質と安全性、テストおよびベンチマーキングのレビュー
- プラスチック廃棄物の削減、持続可能な社会を実現するための課題解決、支援

Plasmonic は、革新的なソリューションを開発、提供し、世界の修理品質基準を高め、自動車業界全体での持続可能な社会の実現を推進いたします。業界関係者ならびに皆様にご理解いただきたくご案内とさせていただきます。何卒宜しくお願い申し上げます。



**Brian Driehorst | CEO PLASNOMIC**

ブライアン・ドリーホースト

Web サイト <https://www.plasmonic.com/>

プレスリリース <https://www.plasmonic.com/plasmonic-plastic-repair-allince-council/>

**奥田 照幸 | 協議会メンバー（日本代表）**

3 h a r m o n y

Email: [okuda@3harmony.jp](mailto:okuda@3harmony.jp)

Office DID :+81(50)3613-5472

Address;4F S&Y Building,3-27-6,Hasimoto,

Sagamiharashi Midoriku,Kanagawaken,252-0143,Japan

